

【資料1】

質問紙調査における肯定的回答の割合比較

(%)

番号	質問項目	第1回調査 (5月)	第2回調査 (7月)	第3回調査 (10月)	第4回調査 (12月)
1	面白いと思うことやもっと知りたいと思うことは、とことん調べたい。	91.5	94.3	94.3	85.7
2	人の役に立てるような立派な人間になりたい。	91.4	97.1	97.1	100.0
3	わからないことはとことん調べている。	82.8	94.3	88.6	88.5
4	自分から勉強に取り組んでいる。	77.1	85.8	80.0	85.7
5	難しい問題に出会うとよりやる気ができる。	68.6	82.9	80.0	80.0
6	問題の解き方はいくつか考えることにしている。	65.7	88.5	74.2	97.1
7	一人で解決できることは、できるだけ一人で解決している。	74.3	97.2	94.3	91.4
8	新しいことを学ぶことは面白いと思わない。(逆転項目)	88.6	88.6	91.5	85.8
9	友達に質問されても、ほとんどのことはうまく答えられる。	80.0	85.7	88.5	94.3
10	授業でわからないことがあると、先生に質問できる。	65.8	68.5	80.0	82.9
11	わからないと思うことは、わかるまで調べたい。	82.9	91.4	88.6	91.5
12	自分もっている力を十分に出しきりたい。	77.2	97.2	88.6	94.3
13	面白いと思うことやもっと知りたいと思うことは、調べずにはいられない。	74.3	80.0	82.9	88.6
14	テストがあれば、自分で計画を立てて勉強する。	65.7	77.1	71.4	77.2
15	今までより、難しい問題に取り組むことが多い。	71.5	85.7	74.3	88.6
16	学校で勉強したことが正しいかどうか、家に帰ってもう一度考えてみる。	40.0	65.7	65.7	74.3
17	難しい問題に出会っても、簡単には先生や友達の助けは求めない。	80.0	82.9	88.5	85.8
18	学ぶことは面白いと思う。	80.0	94.3	91.4	94.3
19	勉強のことで、友達から頼られていると思う。	40.0	57.1	62.8	71.4
20	授業でわからないことがあると、クラスの友達にきくことができる。	80.0	88.6	91.5	94.3
21	学校で教えてくれること以外でも、いろいろなことを学びたい。	80.0	94.3	82.8	91.4
22	いろいろなことを学ぶことは楽しい。	77.2	94.3	91.5	94.3
23	学校では落ち着いて授業を受けている。	88.5	91.5	88.6	77.2
24	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ。	68.5	74.3	77.1	82.8
25	自分のすることや言うことに自信をもっている。	65.7	80.0	85.8	88.6
26	友達に伝えたいことをうまく伝えることができる。	77.1	77.2	88.6	91.4
27	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる。	85.7	94.3	88.6	97.2
28	普段の授業では、本やインターネットを使ってグループで調べる活動をよく行っている。	65.7	80.0	77.1	82.9
29	普段の授業では、自分の考えを発表する場面がある。	74.3	85.7	91.4	91.5
30	普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている。	88.6	91.4	88.6	88.6
31	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい。(逆転項目)	45.8	65.7	68.5	51.4
32	国語の勉強は好きだ。	74.2	88.6	97.2	85.8
33	国語の勉強は大切だ。	80.0	97.2	97.2	94.3
34	国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由がわかるように気を付けて書いている。	88.6	77.1	88.5	91.4

## 【資料2】

### 第3学年国語科学習指導案

1 単元名 調べたことを「記号ブック」にまとめて報告しよう

2 教材名 気になる記号（光村図書・3年上）

3 単元の目標

- ・ 身の回りにある様々な記号に関心をもち、報告したい内容を決めて進んで「記号ブック」を作ろうとする。  
(国語への関心・意欲・態度)
- ・ 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して報告文を書くことができる。  
(書くこと イ)
- ・ 「記号ブック」を読み合い、報告した内容について意見や感想を述べ合うことができる。  
(書くこと カ)
- ・ 句読点を適切に打ったり、段落の始めは行を改めて書いたりすることができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(エ))

4 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「記号ブック」を作って調べたことを報告することを位置付けた。「記号ブック」とは、身の回りにある様々な記号について児童一人一人が調べた報告文を班ごとにまとめた小冊子である（右図参照）。報告文を書く用紙は、調べた記号を図示したり、マスを使って段落を意識したりしやすくなっている。また、「記号ブック」を複本作ることで、一人一人の手元に班員の冊子が行き渡るため、じっくりと内容を読み合うことができる。従って、本単元でねらう「段落相互の関係などに注意して報告文を書くこと」（B書くことイ）や、「報告した内容について意見や感想を述べ合うこと」（B書くことカ）を実現するのにふさわしい言語活動であると考えた。



記号ブック

5 単元について

○児童について

本学級の児童は、5月教材「イルカのねむり方」で段落の意味について理解する学習を行い、続く「ありの行列」では、読んだ感想を交流する言語活動に取り組んだ。これらの学習を通して、中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えて文章を読む力を身に付けられてきた。しかし、文章全体における段落の役割はまだ捉えにくく、段落を意識せずに日記や作文を書くことが多い。段落を意識して文章を書いたり、書かれた文章について意見や感想を交流したりする力をさらに身に付ける必要があると考える。

○単元構成について

単元の導入では、教師が作成した「記号ブック」のモデルを児童に提示することで、言語活動の見通しをもたせる。身近にある様々な記号を想起させ、報告文を書く意欲も高められる。展開では、取材で集めた記号の特徴に着目してなかまに分け、報告する記号やその内容の中心を明確にさせる。発展では、段落に気を付けながら取材した内容を文章にまとめる学習に取り組む。また、学習計画表を常に掲示して学習内容を確認することで、単元全体の見通しがもてるように工夫する。

○ 指導について

指導に当たっては、次の3点に留意して学習活動を進める。1点目は、ペア学習やグループ学習といった学習形態を積極的に取り入れることである。報告文の中身を吟味したり、「記号ブック」の内容を読み合ったりする場面で、学習目標を実現するために最適な学習形態を工夫していく。2点目は、児童が調べたいことを明確にしたり、段落相互の関係に注意して文章を構成したりするために、ワークシートを工夫することである。文章全体の構成が1枚の紙で分かるよう、構成メモを用いて段落を意識させる。3点目は、グループで書いた文章を読み合う場面で、付箋を使って交流することである。複数の観点を提示してお互いの文章の良い点を見付け、色分けした付箋に書いて交流させたい。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
1 身の回りにある様々な記号に関心を持ち、報告したい内容を決めて進んで「記号ブック」を作ろうとしている。	1 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して報告文を書いている。(イ) 2 「記号ブック」を読み合い、報告した内容について意見や感想を述べ合っている。(カ)	1 句読点を適切に打ったり、段落の始めは行を改めて書いたりしている。 (イ(エ))

7 単元の指導計画 (全12時間)

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準〔 〕と評価方法( ) ○協働的・双方向的な学び
一	1	・身の回りにある記号について興味をもつ。	・身の回りの記号に関する資料や写真、関連図書などを準備して、興味・関心を高める。	〔関〕身の回りにある記号について気が付いたことを発表している。(発言の中で、興味のある題材を探し、進んで伝えようとする姿を加点的に評価する。)
	2	・教師が作成した「記号ブック」モデルを参考にしながら、学習の見通しをもつ。	・教師が作成した「記号ブック」のモデルを提示し、学習の見通しがもてるようにする。	

二	3	・「西山さんのカード」を基に、取材カードの書き方を知る。	・取材をする事柄を確認させる。	〔関〕 興味のある記号について進んで取材している。(取材カードの内容を基に評価する。) ○4人で1グループになり、個々に取材したカードの相違点を話し合い、特徴ごとに分類する。
	4	・取材カードに取材したことをまとめる。	・取材内容が十分でない児童には、具体的に取材のヒントを与える。	
	5	・取材カードの特徴を捉えながら分類する。	・分類の観点を明確にして話し合うように指導する。	
	6	・「西山さんが書いたほうこく文」を読み、報告文の書き方を知る。	・事柄ごとに段落を分けて書くと、分かりやすい文章になることを助言する。	
	7	・文章の組み立てを考える。	・「はじめ・なか・おわり」の段落を意識し、文章構成が1枚で把握できるような構成表を準備する。	〔書イ〕 自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して報告文を書いている。(報告カードの記述を基に評価する。) 〔言イ(エ)〕 句読点を適切に打ったり、段落の始めめは行を改めて書いたりしている。(報告カードの記述を基に評価する。)
	8	・取材カードの構成表を基に、下書きをする。	・文末表現や誤字等、読み返す時の観点を伝える。	
	9	・下書きを読み返し、間違いを正したり、よりよい書き方に直したりする。		
三	10	・班の友達と記号ブックを読み合って交流する。	・観点を明確にして意見や感想を書くことを確認させる。	○8人で1グループになり、記号ブックの中身を発表し合い、交流する。 〔関〕 「記号ブック」を読み、進んで意見や感想を書いている。(交流の様子を観察し評価する。) 〔書カ〕 「記号ブック」を読み合い、報告した内容について意見や感想を述べ合っている。(付箋の内容や枚数によって評価する。)
	11			

8 本時の指導（第5時）

(1) 本時の目標 身の回りにある記号に関心を持ち、報告したい内容を決めることができる。

(2) 本時の学習

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法 ○準備物
0	1 記号ブックづくりのめあてを確認し、学習の見通しをもつ。	・「学習計画表」を基に、本時の学習内容を確認させる。	○学習計画表
5	2 教師の提示するモデルを見て、記号を分類する方法を知る。	・記号の色や形など分類の観点を複数示し、黒板に提示した記号を分類させる。	○教師モデル ○掲示用の記号カード
15	3 取材してきた記号の分類を考える。	・様々な観点で分類ができるように助言する。	○取材カード
20	4 分類した記号の性質に着目しながら、グループで話し合っって個々の記号の分類を見直す。	・分類しながら分かったことや考えたことを整理し、報告できるよう指導する。	○ワークシート 〔関〕身の回りにある記号に関心を持ち、報告したい内容を決めようとしている。（話合いの様子やワークシートの記述内容を基に評価する。）
40	5 分類した記号から、記号ブックとして報告したいものを選ぶ。	・机間指導をして、報告内容が選べていない児童を支援する。	

# 記号ブックをつくらう

## 文章組み立てシート

名前 ( )

◎ 友だちや家族にほつじくじたらじよ

じよから	組み立てメモ

# 秋の俳句を楽しもう

## 名前

① 句を読もう。

② 気に入った句を、うつそう。

③ 俳句をつくってみよう。

柿かきくえば 鐘かねが鳴るなり 法隆寺ほうりゅうじ

赤あかとんぼ 筑波つくばの雲くもも なかりけり

(正岡子規まさおかしき)

山やまは暮くれて 野のはたそがれの すすきかな

(与謝蕪村よさぶそん)

名月めいげつを とってけると 泣なく子こかな

うつくしや 障子しょうじの穴あなの 天あまの川がわ

(小林一茶こばやしいつさ)

初秋はつあきの いなごつかめば やわらかき

(芥川龍之介)

### 【資料4】



# 句会を開こう

名前 ( )

## Ⅰ 鑑賞 みんなの句をじっくり、おねを聞いてみよう

れい	菜の花や	月は兼に	日は西に

## Ⅱ 選句 おねを聞いて、1つだけ、おねあとの野田を贈ろう。

---

---

---



# 同級生と 同級生

① 同級生 誰V・それVは 同級生Vか。

お花 田中さん同級生か。お花の隣の先生か。先生 先生同級生か。お花の隣の先生か。先生 先生同級生か。

(同級生か)

② 先生は 先生同級生か。○○先生は先生か。○○先生は先生か。先生 先生同級生か。

先生 先生 先生 先生 先生

(先生同級生か)

③ 先生は先生同級生か。先生は先生同級生か。

○○先生は先生 ———— 先生同級生か。

△△先生は先生 ———— 先生同級生か。



④ 先生 先生同級生か。先生同級生か。

(先生同級生か)

- ○○先生は先生 ———— 先生同級生か。先生同級生か。
- ○○先生は先生 ———— 先生同級生か。先生同級生か。
- ○○先生は先生 ———— 先生同級生か。先生同級生か。

⑤ 先生は先生 ———— 先生同級生か。

「 ○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○ 」

先生同級生か。先生同級生か。先生同級生か。先生同級生か。先生同級生か。

⑥ 先生は先生 ———— 先生同級生か。先生同級生か。